

すべての原発を即時停止し、廃炉にしよう!

労働者・市民から被災支援をつよめよう!

3月11日の東日本大震災において、多数の方々が被災されました。私たちアジア共同行動(AWC)日本連絡会議は、被災された方々に、ここからのお見舞いと励ましを表明するものです。一日も早い復興へ支援したいと思います。



崩壊した福島第一原発3号機

■ すべての原発の廃炉化を!

現在、福島第一原発の崩壊が進み、放射能汚染が拡散しています。いのちと健康、環境を破壊する原発と放射能の危険性は明らかです。安全な原子力はありません。一度事故が起きればその回復には信じがたいほどの年月がかかります。旧ソ連のチェルノブイリ原発事故では、「すべてが解決するには百年かかる」といわれ、事故後25年の今も苦悩がつづいています。

今回の放射能汚染・被曝は、10年以上の長い単位で、被害を生み出し続けます。すべての原発の廃炉をかちとりましょう。

■ 被災には、国境・国籍はありません!

私たちAWCはこの間、アジア各地や世界の労働者・市民と交流し、反戦平和・反基地の活動を行ってきました。こうした活動成果からあらためて訴えたいことは、多くの在日や滞日の外国人の方々も被災されているということです。東北にある在日外国人学校の児童・生徒、日本に働きにきている外国人も少なからず被害を受けています。被災には国籍はありません。外国人を排除する流言飛語や差別があってはなりません。

■ 軍事予算を復興費用に! 日米軍事同盟の強化はいやです!

被災現場では、自衛隊が展開しています。私たちは、自衛隊の救援活動に異議をとらえるものではありません。むしろ、これを機に自衛隊は殺戮と戦争のための軍隊ではなく、内外の災害救助を専門とする部隊となるべきです。約5兆円という莫大な軍事費は、救援・復旧・復興の予算に回すべきです。戦車や戦闘機、戦艦、弾丸・ミサイルを救援のための輸送ヘリや車両、緊急医療物資や仮設住宅、民生再建の推進にあてるべきではないでしょうか。

また米軍も出動しています。これは「有事」対処として、日米軍事同盟の強化の一環にほかなりません。駐留米軍経費＝「思いやり予算」に5年間で約9千億円が使われようとしています。これは、震災への復旧・復興へと切り換えるべきです。在沖在日米軍と日米軍事同盟の強化は、いやです。

■ 労働者・市民による被災救援をすすめよう!

大震災や原発崩壊で最も被害をうけるのは、労働者や滞日外国人等です。原発事故現場では、下請け労働者が命を削っています。被災地でたくさんの労働者が不当に解雇されています。生活の糧を失っています。

私たちは、全国労働組合連絡協議会(全労協)のルートによる義援金カンパを進めます。労働運動・市民団体による「労働者への支援」や「滞日外国人労働者の救援」を推進します。救援金カンパへのご協力をおねがいします!

※全労協 災害救援基金口座: 中央労働金庫 新橋支店 普通 3584401
名義「災害救援基金(サイガイキュウエンキキン)」

アジア共同行動(AWC)日本連絡会議

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル2階 全国一般労働組合全国協議会気付
京都府宇治市広野町西裏99-14 パール第一ビル3階 自立労働組合連合気付